



## 「関の山車<sup>やま</sup>会館」の開館について

亀山市は、市の民俗文化財である「関の山車<sup>やま</sup>」の保存や祭囃子などの伝承活動の拠点「関の山車会館」を来る7月6日（土）に開館します。

関の山車会館の敷地内には、主屋・土蔵・離れ・山車収蔵展示棟の4棟の建物があります。館内では、「関の山車」とその付属品、祭りに関する歴史資料、さらには、祭りを支える関宿の人々などについて保存・展示しています。

ご案内のとおり、「関の山車」は、関宿の夏の風物詩「関宿祇園夏まつり」で曳き出され、現在、4基の山車が残されています。狭い東海道の道筋を山車が通る様は、これで限度いっぱいの意味で使われる「関の山」の語源になったと言われています。

ぜひ、多くの皆様に関の山車会館へご来館いただき、保存継承される関の山車と祭囃子、それを支えてきた人々の歴史を感じていただければ幸いです。

なお、開館初日は、正午から午後4時30分まで無料公開します。



主屋



山車収蔵展示棟(左)、離れ(右)